

事後評価結果（平成20年度）

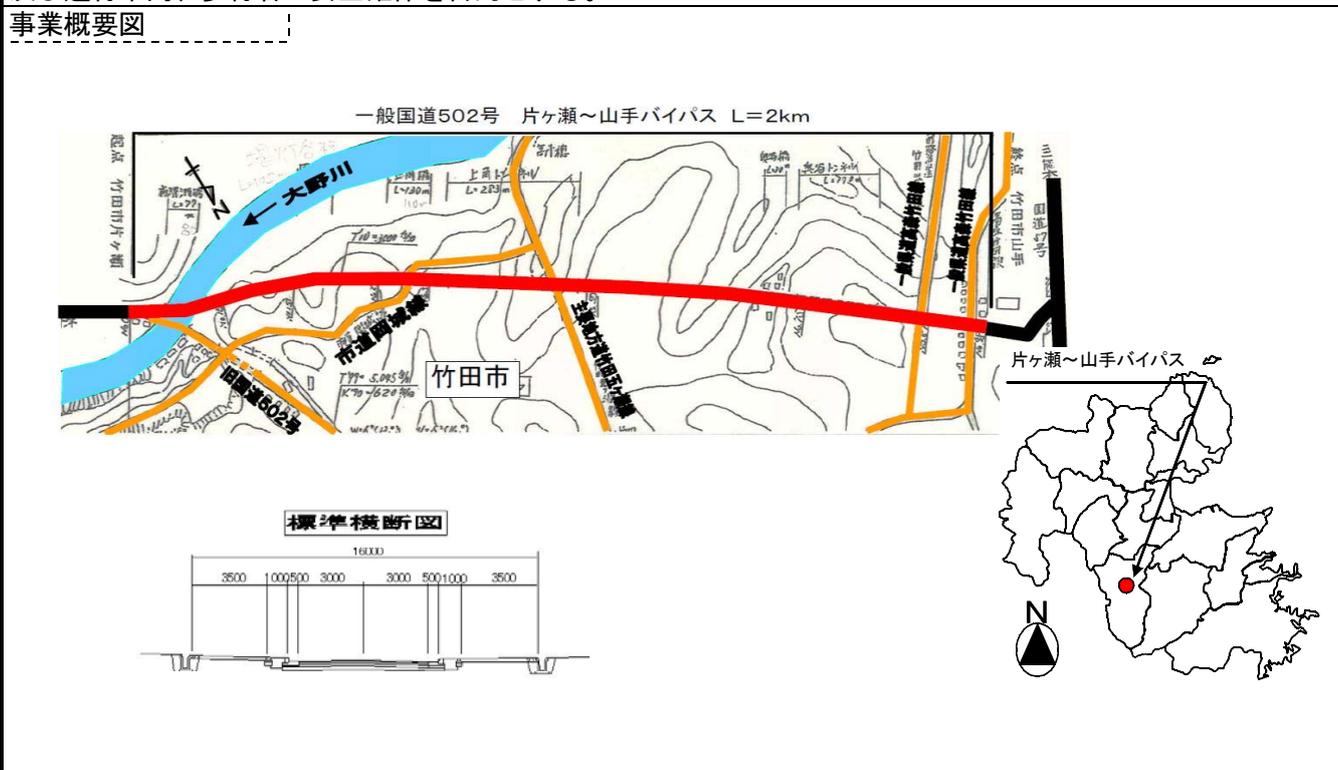
担当課：大分県 道路課

担当課長名：富山 英範

事業名 一般国道502号 <small>かたがせ やまて</small> 片ヶ瀬～山手バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 大分県
起終点 自：大分県竹田市片ヶ瀬 至：大分県竹田市山手		延長 2.0km

事業概要
 一般国道502号は、大分県臼杵市の一般国道217号を起点とし、竹田市の一般国道57号に至る延長約45kmの幹線道路であり、沿線には歴史的な観光施設が点在するとともに商店街や市役所など、観光・生活の両面で利用者の多い道路である。

事業の目的・必要性
 本事業箇所は、一般国道57号から熊本方面、一般国道442号から久住町方面への通過交通が多いにもかかわらず、幅員狭小で線形不良箇所も多いことから、市街地を迂回するバイパス整備により市街地での混雑解消及び通行車両、歩行者の安全確保を目的とする。



事業の 効果等	事業期間	事業化年度：平成1年度 都市計画決定：—年度	用地着手：—年度 工事着手：—年度	供用年：(当初) 平成10年度 (暫定/完成) (実績) 平成15年度	変動	1.5倍	
	事業費	計画時 (名目値) — / — 億円 暫定/完成 (実績値) — / — 億円	実績 (名目値) — / — 億円 暫定/完成 (実績値) — / — 億円	74億円	変動	— 倍	
	交通量 (当該路線)	計画時 暫定/完成	— / 3000台/日	実績 (暫定/完成)	— / 3267台/日	変動	108.9%
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	15km/h → 60km/h (供用直前年次) 14年度 (供用後年次) 15年度	交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)		— → — 件/億台キロ (供用直前年次) —年度 (供用後年次) —年度	変動	— 倍
費用対効果 分析結果 (当初)	B/C : —	総費用 (億円) 事業費：— 億円 維持管理費：— 億円	総便益 (億円) 走行時間短縮便益：— 億円 走行経費減少便益：— 億円 交通事故減少便益：— 億円	基準年	—	— 年	
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C : —	総費用 (億円) 事業費：— 億円 維持管理費：— 億円	総便益 (億円) 走行時間短縮便益：— 億円 走行経費減少便益：— 億円 交通事故減少便益：— 億円	基準年	—	— 年	

	事業遅延によるコスト増	費用増加額	： － 億円	便益減少額	： － 億円
	事業遅延の理由 用地交渉の難航、軟弱地盤対策に伴う検討及び文化財調査				
	客観的評価指標に対応する事後評価項目 ○バイパス開通により熊本方面等への時間短縮が図られた。 通過時間：整備前 8分 → 整備後 2分 ○市街地の渋滞緩和 旧国道の交通量減少により、歩行者の安全確保及び市街地の渋滞緩和が図られた。 観光イベントでの現道利用等が可能となり観光振興が図られた。 整備前市街地 5,795台/日 → 整備后市街地 3,456台/日 【40%削減】				
	その他評価すべきと判断した項目 特になし				
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目 なし				
	その他評価すべきと判断した項目 特になし				
	事業を巡る社会経済情勢等の変化 特になし				
	今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 特になし				
	計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 事業の事前調査、現地踏査を十分行い適正な全体事業費の把握に努める				
	特記事項 なし				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。